

F 作者	椎名誠
B 作者の代表作	岳物語
D 「いそうろう」 意味	自分のランクと、それより下のランクのもの全部
C 「精密」 意味	よその家の世話になって、養ってもらふこと
C 「口実」 意味	細かいところまで行き届いていること
C 「雄弁」 意味	言い訳
C 「ぶっきらぼうに」 意味	堂々と力強く上手に話すこと
B 「母」の「ぐうちゃん」への思い（3）	無愛想に
	①ちゃんと就職して「いそうろう」 を卒業してほしい。
	②「僕」に悪い影響を与えないか心配している。
	③愛情を感じ、楽しんで世話をしている。
B 「父」の「ぐうちゃん」への思い（2）	①「いそうろう」を歓迎している。
	②ぐうちゃんの生き方に共感し、少し羨ましいとも 感じている。
E 「(P22 L19) そう言われればそうだ。」について 「僕」はどう思ったのか。	ぐうちゃんの話が信じられなかったら、証拠を見せて もらえばいい。
D 「(P23 L6) むっとした。」について なぜ「僕」は「むっとした」のか	ぐうちゃんのせいで恥をかいたのに、 言い逃れをしていい加減な態度をしているから。
D 「(P24 L3) 電気の消えたぐうちゃんの部屋が急に 寂しく感じられた」の「僕」の思い	自分のせいで責められているぐうちゃんを気の毒 に思っている。
F 「(P24 L13) ぐうちゃんの声はどんどん遠くなっていく」 について 「僕」の状態	ぐうちゃんがいなくなることに動揺して、 話が耳に入ってこない。
F 「(P24 L15) 勝手に行けばいいじゃないか。」について どうして「僕」はこういったのか。	突然ぐうちゃんがいなくなることを聞かされ、置いて きぼりにされたような寂しさを感じ、 意地を張ってしまったから。
F 「(P25 L4) ほらばかりだったじゃないか。」 の「僕」の気もち	ぐうちゃんがいなくなってしまうことが寂しい。
F 「(P26 L17) 不思議アタマになる」とは どういうことか	豊かな知識を得ることで、世界のいろいろな事に好奇心（「興味や 疑問」でも可）をもち、探求しようとする事。